

# サステナビリティ長期方針 「はずむ未来チャレンジ2050」

2021.8.5



住友ゴム工業株式会社  
SUMITOMO RUBBER INDUSTRIES, LTD.



2050年を見越した長期的視点の計画が必要

## 事業活動を通じ、社会と企業の持続的成長を目指す





## はずむ未来チャレンジ2050

### Environment

地球環境と  
安全を守るために

- ・製品イノベーション
- ・カーボンニュートラル
- ・資源循環
- ・水資源
- ・持続可能な原材料

### Social

社会と共生  
するために

- ・健康と安全
- ・組織風土・文化醸成
- ・多様性の尊重と調和
- ・人権の尊重
- ・サプライチェーンマネジメント

### Governance

経営基盤を  
強固にするために

- ・コーポレートガバナンスの強化
- ・コンプライアンスの徹底

2050年  
チャレンジ  
目標テーマ

施策

- ・スマートタイヤコンセプトの具現化
- ・サステナビリティ商品自社基準の制定
- ・カーボンニュートラル（スコープ1,2）
- ・水素の活用
- ・バイオマス、リサイクル原材料比率の拡大

- ・労働安全衛生の徹底
- ・健康経営の推進
- ・リーダーシップ開発
- ・ダイバーシティ&インクルージョンの推進
- ・女性活躍の推進
- ・人権マネジメント体制の構築
- ・第三者評価機関の活用

- ・取締役会の多様性向上
- ・ガバナンスの実効性向上
- ・税の透明性
- ・Our Philosophyの浸透



**GENKI（元気）活動**  
（社員ボランティア活動）



## 循環型ビジネスの確立を目指す

★全事業  
●タイヤ事業

★EV車両  
★モーダルシフト



★サステナブルな天然ゴム



●センシングコア  
(空気圧・摩耗状態・路面状況把握)  
●ソリューションサービス  
(タイヤ総合管理サービス)



★バイオマス原材料  
★リサイクル原材料  
●スマートタイヤコンセプト  
(EV、CASE、MaaS対応)



★カーボンニュートラル  
★水素の活用  
★水使用量の削減



★EV車両  
★モーダルシフト

輸送



★サステナビリティ商品自社基準  
★プラスチックの削減  
●リトレッドタイヤ

販売

使用

調達

輸送

開発

製造

① バイオマス原材料のさらなる活用

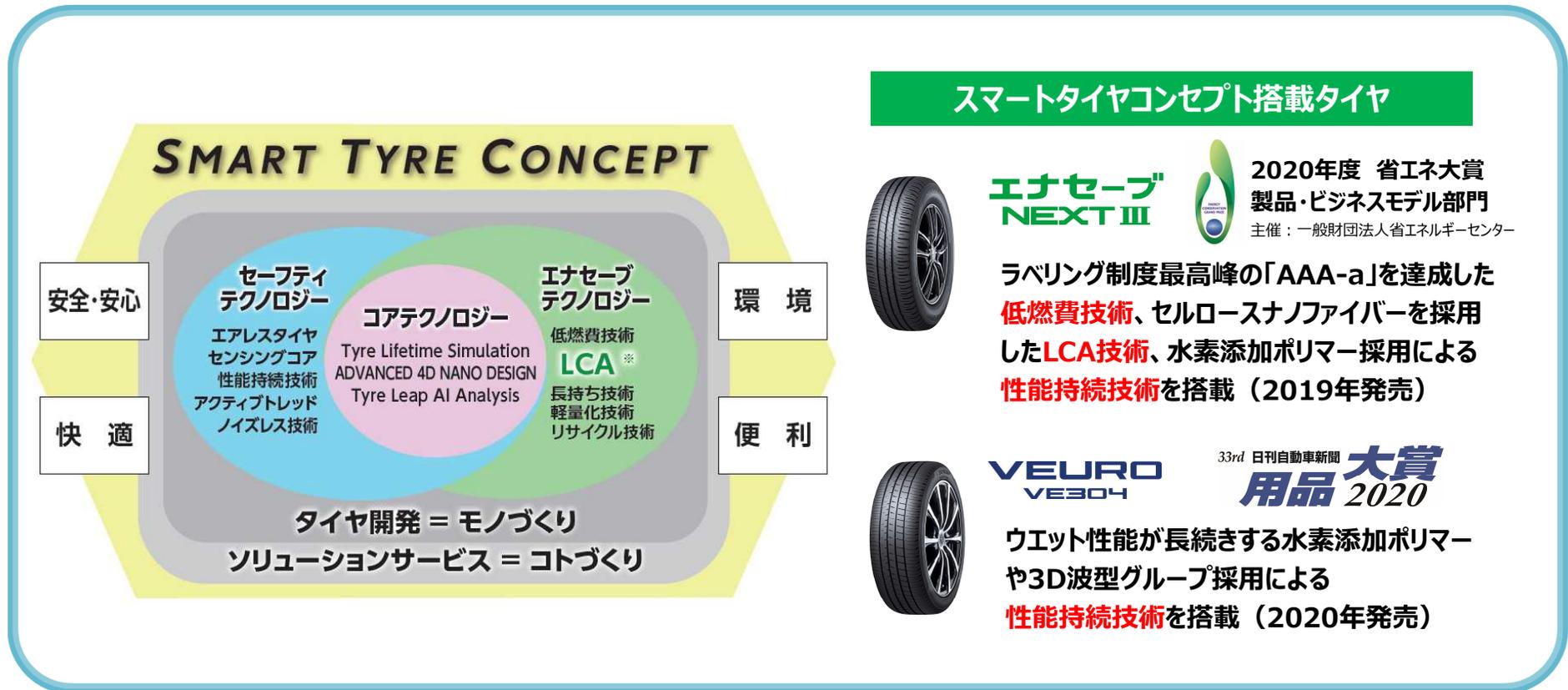


② 次世代エネルギー「水素」の活用



③ サステナビリティ商品自社基準の制定





100年に一度といわれる  
モータリゼーションの変革



安全で環境に優しい  
サステナブルなタイヤ開発を  
**LCA**※を基軸としてさらに加速

※ライフサイクルアセスメント(Life Cycle Assessment)は、商品やサービスの原料調達から、廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通しての環境負荷を定量的に評価する手法のこと。

～2029年

2030年

スマートタイヤコンセプト全技術完成

発売する新商品の100%に  
スマートタイヤコンセプトを搭載

コンセプトタイヤ※を提案



空気入りタイヤ



エアレスタイヤ

※2029年までに必要とされる性能に対して、  
エナセーブテクノロジーとセーフティテクノロジーの  
完成された技術を適切に組み合わせたコンセプトタイヤ

空気入りタイヤ



スマートタイヤコンセプト搭載

エアレスタイヤ



スマートタイヤコンセプト搭載

# 開発：バイオマス+リサイクル原材料（タイヤ）

住友ゴムグループ



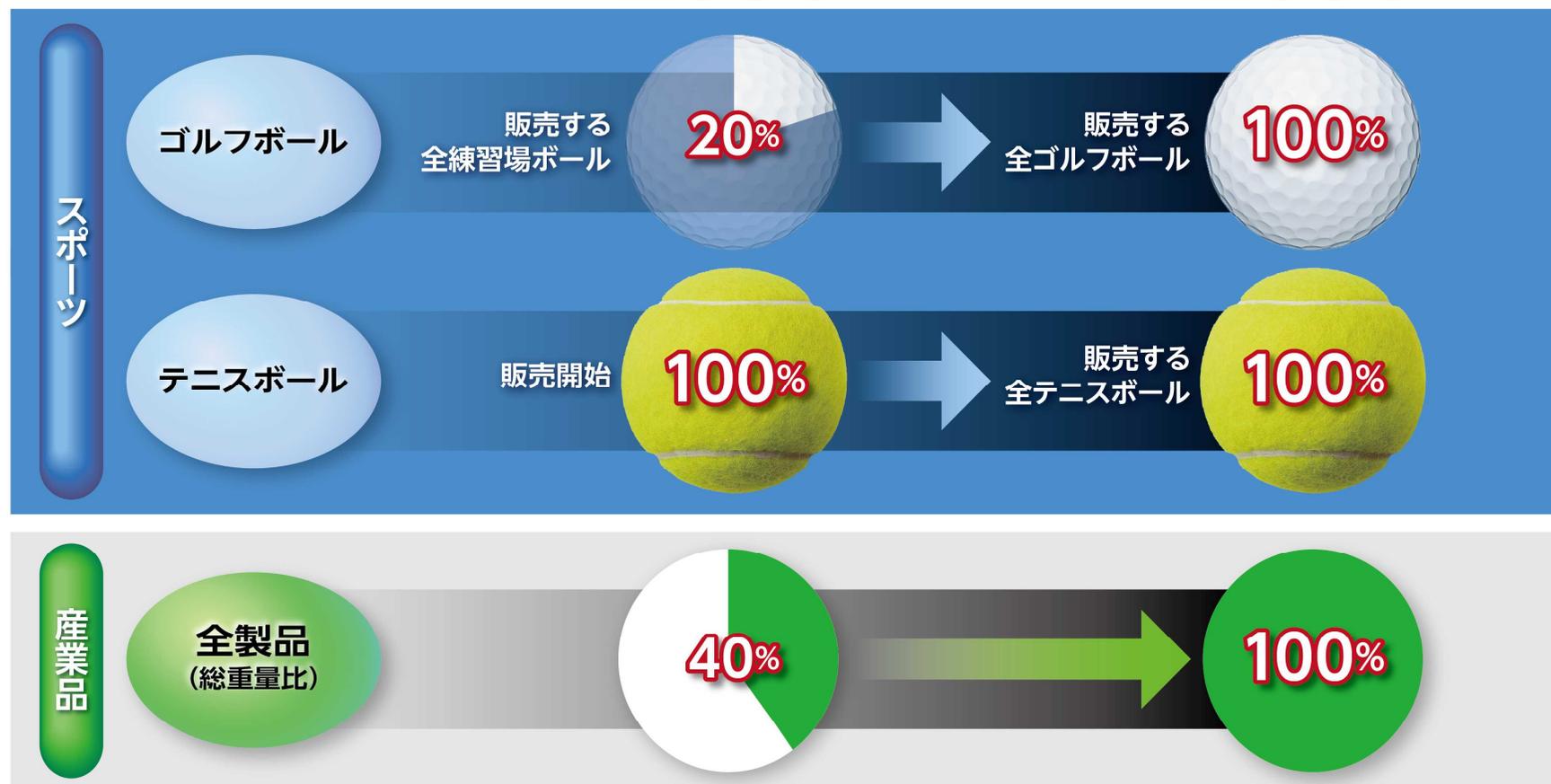
## 2050年にサステナブル原材料比率100%に

### サステナブル原材料比率

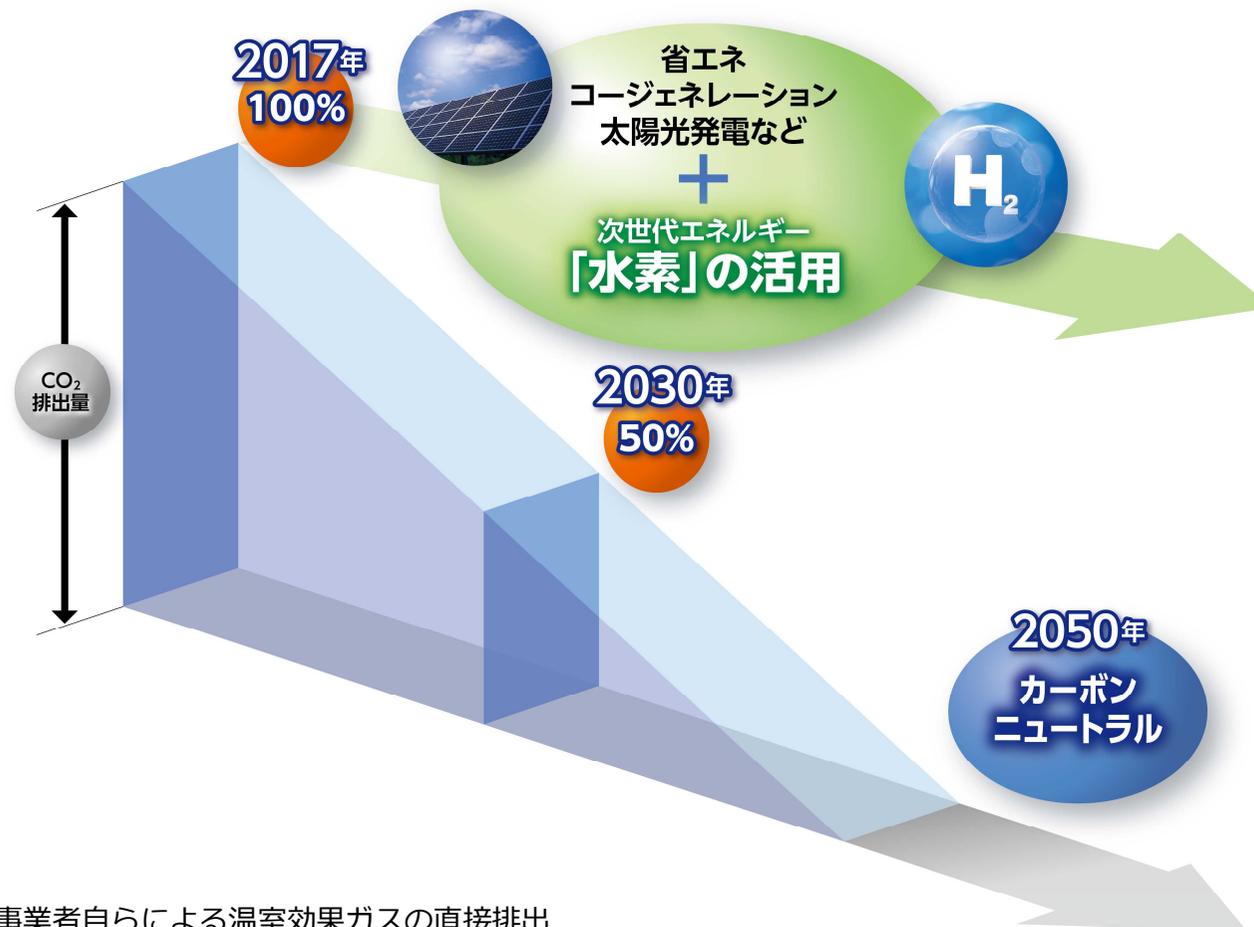
(バイオマス+リサイクル)

2030年

2050年



## 工場から排出するCO<sub>2</sub>を2030年に50%削減、 2050年にカーボンニュートラルを目指す



※ Scope 1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出  
Scope 2：他社から供給された電気の使用に伴う間接排出

福島県・白河工場で水素ボイラー導入を計画(NEDO※助成事業)

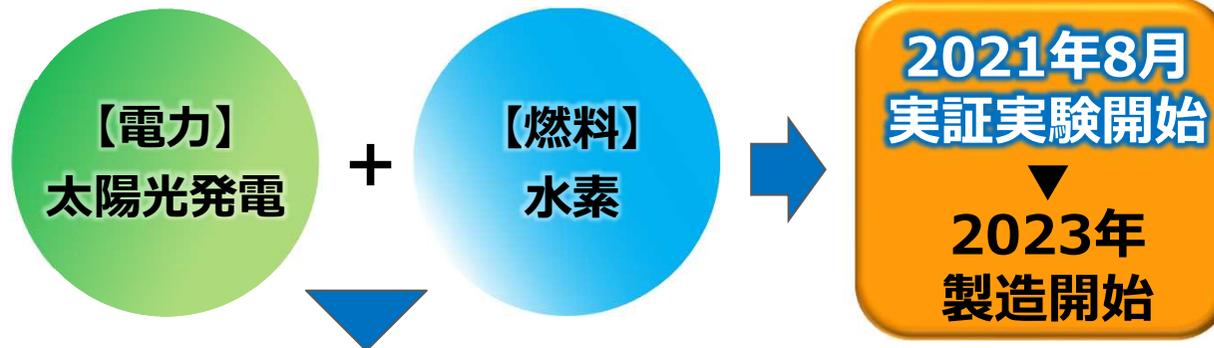
※国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

高性能タイヤを製造  
する生産システム



NEO-T01

NEO-T01の全工程をクリーンエネルギー化



「製造時CO<sub>2</sub>排出ゼロタイヤ」を目指す

福島県から国内工場、そして海外工場へ展開を検討



タイヤ、スポーツ、産業品全事業で  
住友ゴムサステナビリティ商品(SSP)として自社基準を制定  
サプライチェーン全体で循環型社会への貢献を目指す



タイヤラベル、商品包装材、販促ツール等の  
プラスチック使用量を2030年までに40%削減※

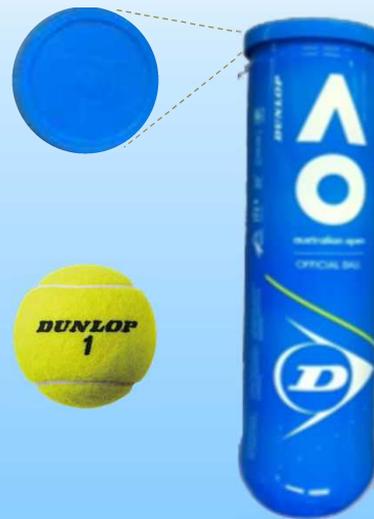
※2019年比

## タイヤ



タイヤラベル  
持ち帰り袋  
店頭POP等

## スポーツ



テニスボール  
PET缶・蓋  
包装材等

## 産業品



包装材等

## 「TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)」に賛同

気候変動によるリスクと機会が財務に及ぼす影響を開示するTCFD※に2021年6月に賛同。

**TCFD** | TASK FORCE ON CLIMATE-RELATED FINANCIAL DISCLOSURES



※国際金融機関であるFSB(金融安定理事会：本部スイス)が、気候変動リスクが金融システムの安定を損なう重大なリスクであるとして、気候変動のリスクと機会が、財務に及ぼす影響を開示するように求める提言。  
世界中の2,000を超える企業、政府、国際機関などがTCFDの提言に賛同している。

## サステナビリティインデックスへの組み込み

機関投資家の投資判断などに活用されるFTSE※の二つの主要インデックスに採用。



FTSE4Good



FTSE Blossom  
Japan

※ロンドン証券取引所グループ会社であるFTSE社が企業の開示情報を元に独自の基準でESG評価を実施する。

ゴムの先へ。はずむ未来へ。

